

外交官が仕事の魅力紹介

星陵高生に ビデオ通話で講演

ビデオ通話で生徒に語りかける、在韓
国日本大使館の大塚航参事官＝星陵高
校



垂水区

外務省職員が高校生に仕事の魅力を伝える「高校講座」が5日、星陵高校（垂水区星陵台4）であった。講師の在韓国日本大使館の大塚航参事官（41）が1、2年生計554人に体験を語

った。同省は、外交官への理解を深めてもらおうと、全国の高校に職員を派遣している。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、ビデオ通話での講演活動を行っている

る。

大塚参事官は米国の高校1年生だった頃、日本への原爆投下について、周囲が肯定的な意見を持っていたことに衝撃を受けたという。戦争について思いを巡らす中で「世界の平和を守る仕事をしたい」と決意し、外交官を目指したことを明かした。

これまでの勤務地での経験を語った上で、「外交官とは、人との交流を楽しみ、信頼し、信頼される仕事」などと説明。生徒には「自分に自信を持ち、楽観的であろう」と呼び掛けた。

1年の澤田あゆみさん（16）は「海外で働きたいという漠然とした夢はあったが、具体的になった。さまざまな国に行って現地の人と交流できる仕事に魅力を感じた」と声を弾ませた。

（大橋凜太郎）